

特別委員会

市の重要課題について、専門的に調査研究を行うため、必要に応じて設置される委員会です。

■ 予算審査特別委員会

ー平成28年度予算を可決ー

本定例会初日に予算審査特別委員会（議長を除く18議員で構成）を設置し、平成28年度の一般会計及び特別会計11件、企業会計2件の予算審査を行いました。

予算案はすべて原案どおり可決としました。審査における主な質疑等（定例会最終日の委員長報告の概要）は次のとおりです。

一般会計

議会費

特別職報酬等審議会についての意見が多数出され、次のように集約した。

- 議会と議員活動を理解できる審議委員の人選に配慮し、議会と議員活動を十分に把握して審議を行っていただくこと。
- 議員報酬と政務活動費は基本的に違うものであることを整理していただくこと。
- 審議委員が議員活動の内容を正しく理解するための事前周知にも留意すること。

総務費

えちごトキめき鉄道支援事業の補助金に関して、通学通勤の混雑緩和への早急な対応を鉄道会社を求める必要があるとの強い意見が出された。

衛生費

健康診査受診促進事業において、ピロリ菌検査委託、生活習慣病予防事業の拡大と推進を求める意見が出された。

また、医師確保と市内救急医療対応の改善を求める意見に対して、県内でも医師確保が困難な特別な地域であることを県や厚生連にアピールし、医師確保については、これまでつながりのある富山大学にさらにお願いしていくとの答弁があった。

商工費

観光費において、糸魚川ジオステーションジオパルでの対応と観光協会への補助金のあり方について改善を強く求める意見が出され、観光協会は今後自主自立するため法人化させていくとの答弁があった。

また、長者温泉ゆとり館運営事業については、施設維持管理委託料と施設の位置付けについて質疑があり、地域振興を目的とした福祉施設として運営していくとの答弁があった。



中村 実 委員長



田原 実 副委員長

教育費

教育環境改善と教職員の資質向上、いじめ対応を求める多くの意見が出され、次のように集約した。

- 教育委員会費の子ども一貫教育推進事業、いじめ防止対策事業・不登校等対策支援事業、小・中学校学力向上支援事業など、それぞれの施策を強化し、教職員の意識改革を進めて成果を出すこと。特に子ども一貫教育においては、一貫教育のメリットが最大限に生かされるような事業の推進を図ること。また、事業の具体的活動について、予算の裏付けを示すこと。

柵口温泉事業特別会計

経営計画について、経費削減の取組・食材原価管理・労務管理等がずさんであり、支配人としての役割がなされておらず、また、そのチェックを怠っていた能生事務所の責任が厳しく問われた。行政からは、「指定管理に向けて早急に改善対応を行う。また、収支というところを強めている中で、公の宿としての目的が失われている部分があると思っており、経営の目標を整理し、地域振興につなげていきたい。」との答弁があった。

委員会として、次のように集約した。

- 施設経営に精通する専門家を増員して構成する指定管理者選定委員会を組織して、権現荘の経営管理状況を検証、評価すること。
- 支配人の責任のあり方の検証と評価、ご意見直通便の権現荘職員からの通知内容の検証と、市の管理責任として、帳簿の精査、労務管理の環境の調査と監査をすること。特に原価率の管理を徹底し、経営計画の見直しを行うこと。
- 経営状況の調査を十分に行い、諸問題の解決に向けて取り組むこと。
- 支配人着任後の収支も明らかにし、広報による権現荘の経営状況の市民への周知を行うこと。
- 支配人との契約には、支配人の責任を具体的に明記すること。
- インバウンド対応など議会での提言を運営に反映させ、地域貢献の使命を果たすよう取り組むこと。